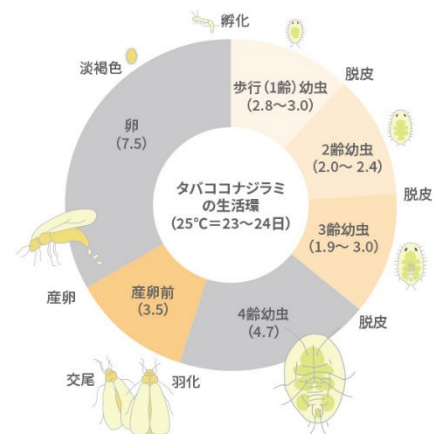




§ 1 難防除害虫「コナジラミ」の特徴と防除

コナジラミはカメムシ目コナジラミ科に分類される昆虫で、世界では1000種類以上確認されています。体長は1mm前後、成虫の翅は蠟質で覆われ、葉裏で産卵し、25℃で21~26日ほどで幼虫を経て成虫に成長します。野外では3-4世代、ハウス内では10世代以上経過します。野菜類ではナス科とウリ科(トマト、キュウリ、ナス、ピーマン等)、花卉ではホインセチアやキクなど様々な植物に寄生します。これらの植物の葉に寄生して吸汁被害を与えるだけでなく、排泄物による「すす病」や、ウイルスを媒介し、ウイルス病を罹病させるので、圃場への侵入防止、媒介される前の防除が大切になります。



<特徴>

- 虫が小さく、被害が出るまで気がつきにくい。
- 農薬に抵抗性を示す系統が存在する。
- 広食性で多くの植物に寄生できる。
- 生育の速度が早く、増殖も速い。
- 単為生殖が可能で飛翔しウイルスを媒介する。



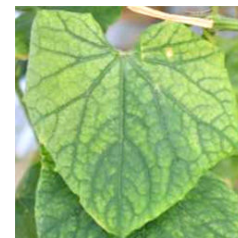
「オンシツコナジラミ」: 生育適温: 20-25℃、発生時期: 6-7、9-10月、卵は孵化直前に褐色となる。幼虫は白色、成虫は静止時に羽の裾が開いています。

「タバココナジラミ」: 生育適温: 20-25℃、発生時期: 6-9月、は孵化直前に淡い褐色となる。幼虫は黄色、成虫は静止時に羽を平行にたたみます。40以上存在するバイオタイプに分けられます。特にバイオタイプBとバイオタイプQなど6系統はウイルス媒介するため、重要害虫に位置づけられます。



<コナジラミが媒介する病気とウイルス>

1. すず病: 糸状菌の一種。コナジラミの排泄物が原因で発生し、葉が黒く覆われます。
2. トマト、ミニトマト黄化葉巻病(TYLCV): タバココナジラミのバイオタイプBとバイオタイプQの両方が媒介するウイルス病。生長点が黄化し葉を巻くようになり、徐々に委縮する。罹病すると結実しないので収穫量は激減する。
3. メロン、キュウリ、スイカ類退緑黄化病(CCYV): タバココナジラミのバイオタイプBとバイオタイプQの両方が媒介する。最初に葉に退緑小斑点が生じ、小斑点が徐々に大きくなり、葉脈間を残して葉全体が黄化する。



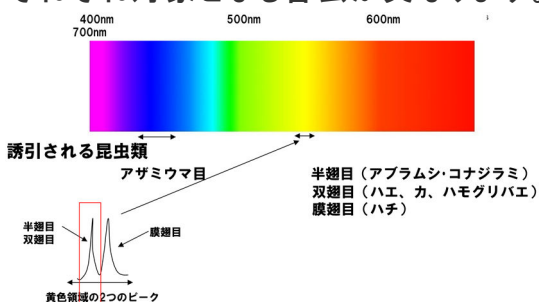
<防除方法>

1. 発生源の除去: 栽培周辺地の雑草防除、施設開口部に0.4mm以下の防虫ネットを設置。
2. 持込防止: 特に苗での持込が多く、無寄生の苗の育成や購買を心がける。
3. 早期発見: 黄色粘着板や予察捕虫器による予察。(黄色に対して正の走光性を示す。)
4. 低密度の維持: シルバーのマルチシート(太陽光を嫌う性質がある)での忌避。
5. 効果のある薬剤の使用: 生物農薬: オンシツツヤコハチやサハクツヤコハチ等があります。
化学農薬: 有機リン系やネオニコチノイド系など登録取得の化学農薬があります。
但し、薬剤感受性低下による剤もあるので、有効な薬剤を選定することが大切です。

§ 2 粘着資材トラップ「ホリバー」について

害虫の発生状況をモニタリングする資材として、昆虫の色に対する誘因反応を利用した有色粘着資材があります。また、同じ原理を用いて大量誘殺するためにも用いられるときもあります。今月はこの粘着資材「ホリバー」についてご紹介します。

「ホリバー」は、害虫が好む色に着色されたプラスチック製粘着板で、黄色と青色があり、それぞれ対象となる害虫が異なります。



黄色	コナジラミ類 : オンシツコナジラミ、タバココナジラミ (シルバーリーフコナジラミを含む) アブラムシ類、ハモグリバエ類、アザミウマ類 (ミナミキイロアザミウマ、ネギアザミウマ)
青色	アザミウマ類 (ヒラスハナアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマなど)

「ホリバー」の特長としては、以下の点が挙げられます。

1. 高い誘引効果と強い粘着力。
2. 独自のカラーで、天敵やミツバチ、マルハナバチは誘引されにくく、害虫だけが好む色調を採用。
3. W型のスリットが入り、より吊り下げが簡単。
4. 害虫の発生具合のモニタリングが簡単に可能。
5. 露地栽培にも使用可能。

使い方のポイントとしては

- 1) 害虫の発生具合のモニタリングする場合
定植後、10a当り10枚程度のホリバーを作物10~30cm上に吊り下げる。
成虫が捕獲されたら捕獲数をカウントする。(ラップで包むと容易です。)
即座に天敵製剤を導入することで、害虫発生初期に天敵を導入できます。
- 2) 害虫を大量捕獲する場合
定植後、10アール当り100~400枚ほど作物の約10~30cm上に吊り下げる。
1m間隔、畝端やハウスサイド、出入口付近に集中的に吊り下げると効果的です。
ホリバーロールと併用するとさらに効果的に捕獲できます。

<ホリバーロール(誘殺用粘着テープ)の使い方>

- 1) ハウス周囲(壁面)に張る:コナジラミ類、スリップス類、アブラムシ類、ハモグリバエ類の侵入を防ぎます。
- 2) ハウスの出入口に張る:コナジラミ類、スリップス類、ハモグリバエ類の侵入を防ぎます。
- 3) ハウス天窓に張る:コナジラミ類、アブラムシ類
- 4) 作物の上部や、トマト・キュウリなど、成長点付近に張って害虫を捕獲

